

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

実社会対応プログラム最終評価結果表

課題(研究領域)	共生社会実現をめざす地域社会及び専門家の内発的活動を強化するための学術的実践
研究テーマ名	高齢者施設等の地域への社会的・福祉的防災復興資源としての役割に関する研究
研究代表者	大塚 毅彦
所属機関・部局・職	明石工業高等専門学校・建築学科・教授
研究成果の総合評点：	B
研究成果に係る所見	<p>調査研究項目については一定範囲はなされているものの、福祉避難所の調査など、まだ不十分な点が認められる。また、調査研究をまとめて理論化するための作業が遅れており、仮説についても一貫性に懸念がある。講演会やセミナー、シンポジウムについては適切に実施されている。</p>

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 事業の目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 事業の目的に照らして、十分な成果があった
- B. 事業の目的に照らして、相応の成果があったとは言い難い
- C. 成果がなかった